



消防千葉

2018 No.563 平成30年9月号

平成 30 年 9 月 1 日 編集兼発行人
千葉市中央区仁戸名町666番地2 千葉県消防会館内
公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅
TEL 043 (263) 9885
郵便番号 260-0801
ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>
メールアドレス chisyokai@bz04.plala.or.jp



飯高寺（飯高檀林跡）（匝瑳市）海匝支部

巻 頭 言

「2020年に向けて」

夷隅郡市広域市町村圏事務組合 消防長 米倉 正男



夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部は、平成2年4月、1市5町による広域常備消防体制が発足し、1本部2署4分署の組織が編成され、地域に密着した防災機関として、地域住民の安心・安全の確保に大きな役割を果し、平成17年12月市町村合併により2市2町を管轄することになり、圏域住民の信頼と期待に応えながら発展を遂げてきたところであります。

管轄面積は406.19km²であり、県土総面積の7.9%を占めており、人口73,234人を高規格救急自動車6台、消防車両等26台運用し、職員数188名の組織体制で日夜消防行政に邁進しております。

さて、現在当圏域においては、平成30年6月に住宅宿泊事業法が施行されたことから、管内ではすでに約30件以上の民泊申請がなされ、今後も宿泊施設が増加する傾向にあります。この状況から、民泊施設等に対し随時立入検査を実施することで積極的且つ合理的な違反是正と安全対策を行います。

また、当管内に隣接する釣ヶ崎海岸が2020年東京オリンピック・パラリンピックのサーフィン会場に決定したことから、マリンスポーツを目的とした観光客及び移住者による人口増加が見込まれ、それに伴う災害発生率の増加が懸念されます。特に海岸線において発生する水難事故対応については、これまで以上に当消防本部水難救助隊と海上保安庁をはじめとする各関係機関との連携強化を図る必要があると思料されます。

さらに、年々出動件数が増加している救急業務にあっては、管内の医療機関において医師不足による診療機能の低下や、傷病者受け入れ困難な状況が続いており、管外の医療機関への搬送が増え、病院収容まで時間を要している状況であることから、今後ますます進展が予測される少子高齢化に対し、各関係機関との連携強化を図りつつ、圏域全体での救命救急体制の充実強化に鋭意努力して参ります。

そして来る「2020年」は、ますます複雑多様化する災害に加え、厳しい社会経済情勢となることから、より一層の地域の安心・安全を市民に提供できるよう、職員一人一人が一丸となって力を身に付け、消防の基盤を強固なものとして消防行政を邁進してまいります。

平成30年度「防火・防災ポスター展」表彰式

千葉県・(公財)千葉県消防協会・千葉県少年婦人防火委員会

防火・防災についての関心を高め、防火・防災意識の啓発を図ることにより災害の未然防止と被害の軽減に役立てることを目的として、千葉県、(公財)千葉県消防協会及び千葉県少年婦人防火委員会の主催により県下の小中学校の児童・生徒から募集した防火・防災に関するポスター展の表彰式が8月21日(火)千葉県庁本庁舎5階大会議室において、受賞者、受賞者の保護者等多数の御臨席のもと開催されました。

本年度は、県内46の小・中学校から2,600点の作品が寄せられ、厳正な審査の結果、最優秀賞には、小学生低学年の部で野田市立中央小学校3年中村友喜さん、小学生高学年の部で白子町立南白亀小学校6年山田麻意さん、中学生の部で大網白里市立大網中学校3年大澤莉羅さんが受賞され、優秀賞に白子町立南白亀小学校1年長嶋ゆめさんの作品外5点、千葉県消防協会長賞には茂原市立二宮小学校2年西口天翔さんの作品外5点、千葉県少年婦人防火委員会長賞には茂原市立茂原小学校2年宮本瑛未さんの作品外5点が選ばれ、それぞれ表彰を受けました。



各賞の受賞者は、次の通りです。

◆ 知事表彰 ◆

● 最優秀賞

なかむら ともき 中村 友喜	野田市立中央小学校	3年
やまだ まい 山田 麻意	白子町立南白亀小学校	6年
おおさわ りら 大澤 莉羅	大網白里市立大網中学校	3年

● 優秀賞

ながしま ゆめ 長嶋 ゆめ	白子町立南白亀小学校	1年
おかだ ありさ 岡田 光咲	野田市立中央小学校	3年
なりた りお 成田 梨音	大網白里市立白里小学校	6年
ますだ あおい 増田 葵	茂原市立茂原小学校	6年
すずき りょうた 鈴木 瞭太	柏市立逆井中学校	2年
やなぎさわ あかり 柳澤 明李	東金市立北中学校	2年

◆ 消防協会長表彰等 ◆

● (公財) 千葉県消防協会長賞

にしぐち つばさ 西口 天翔	茂原市立二宮小学校	2年
いちかわ みそら 市川 穂空	茂原市立茂原小学校	2年
くさみや れな 草宮 怜奈	白子町立南白亀小学校	6年
たむら けんた 田村 健太	茂原市立茂原小学校	6年
まつい なほ 松井 羽葉	船橋市立御滝中学校	2年
みやざわ ことこ 宮澤 琴子	船橋市立大穴中学校	3年

● 千葉県少年婦人防火委員会長賞

みやもと てるみ 宮本 瑛未	茂原市立茂原小学校	2年
ながしお はるま 長塩 春馬	野田市立中央小学校	3年
あらい ももか 新井 百々花	我孫子市立我孫子第二小学校	4年
すずき まこ 鈴木 真子	東金市立城西小学校	6年
はらい のどか 原井 和香	船橋市立二宮中学校	3年
きしもと さやか 岸本 さやか	船橋市立大穴中学校	3年

受 賞 作 品

◆ 知事表彰

☆ 最優秀賞



野田市立中央小学校 3年
中村 友喜



白子町立南白亀小学校 6年
山田 麻意



大網白里市立大網中学校 3年
大澤 莉羅

☆優 秀 賞



白子町立南白亀小学校 1年
長嶋 ゆめ



野田市立中央小学校 3年
岡田 光咲



大網白里市立白里小学校 6年
成田 梨音



茂原市立茂原小学校 6年
増田 葵



柏市立逆井中学校 2年
鈴木 瞭太



東金市立北中学校 2年
柳澤 明李

◆ (公財) 千葉県消防協会長賞



茂原市立二宮小学校 2年
西口 天翔



茂原市立茂原小学校 2年
市川 穂空



白子町立南白亀小学校 6年
草宮 怜奈



茂原市立茂原小学校 6年
田村 健太



船橋市立御滝中学校 2年
松井 羽菜



船橋市立大穴中学校 3年
宮澤 琴子

◆千葉県少年婦人防火委員長賞



茂原市立茂原小学校 2年
宮本 瑛末



野田市立中央小学校 3年
長塩 春馬



我孫子市立我孫子第二小学校 4年
新井 百々花



東金市立城西小学校 6年
鈴木 真子



船橋市立二宮中学校 3年
原井 和香



船橋市立大穴中学校 3年
岸本 さやか

平成30年度少年消防クラブ交流会(全国大会) 千葉県浦安市で開催!!

平成30年8月1日～3日の3日間、少年消防クラブ交流会(全国大会)が消防庁主催、千葉県、浦安市、(公財)千葉県消防協会、(公財)日本消防協会、(一財)日本防火・防災協会の共催により千葉県浦安市で開催され、20都道府県の56少年消防クラブ、クラブ員296名、指導者87名、合計383名が参加しました。

この交流会は、将来の地域防災の担い手育成を図るため、少年消防クラブ員が消防の実践的な活動を取り入れた訓練を通じて他地域の少年消防クラブ員と親交を深めるとともに消防団等からの被災経験や災害への備えなどについて学ぶため開催されました。



開会式



選手宣誓

1日目は、浦安市内のシェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテルにおいて、オリエンテーション、地元チアダンスチームによる演技鑑賞、参加クラブからの自己紹介がありました。

2日目は、猛暑のため、浦安市運動公園総合体育館において、クラブ対抗障害物競技による合同訓練が行われました。

クラブ対抗障害物競走では、1クラブ5名で20mのコースを折り返すことで行われました。

障害は、溝、ハードル、バー、平均台、結索の5つであり、この障害を往路復路とも超え、リレーしながら、アンカー(第5走者)がゴールラインを通過するまでのタイムを競いました。

成績上位5クラブは、次のとおりでした。

- 第1位 浦安市少年消防団
- 第2位 三郷市少年消防クラブ
- 第3位 町田消防少年団
- 第4位 府中町少年少女消防クラブ
- 第5位 吉川松伏少年消防クラブ

夕食後、運動公園総合体育館において避難所生活を体験するため、各グループで「ダンボールハウス」を作り、就寝しました。

3日目は、浦安市運動公園総合体育館において消防団等との交流会が行われ浦安市消防団による東日本大震災への対応や浦安市少年消防団による集団救急事故初期対応訓練などが披露され、3日間の全日程を終了しました。

千葉県からは、浦安市少年消防団、松戸市少年消防クラブ、小林小学校少年少女消防隊（印西市）、栄町少年消防団の4団体が参加されました。



障害物競走（平均台）



障害物競走（結索）



クラブ対抗障害物競走優勝（浦安市少年消防団）



避難所体験



避難所体験

●参加団体一覧表

	都道府県	市町村区	クラブ名
1	北海道	札幌市東区	伏古本町ひまわり少年消防クラブ
2	北海道	札幌市西区	西町少年消防クラブ
3	北海道	札幌市厚別区	厚別中央しなの少年消防クラブ
4	岩手県	九戸郡洋野町	洋野町少年消防クラブ
5	宮城県	仙台市宮城野区	仙台市立宮城野中学校少年消防隊
6	宮城県	気仙沼市	気仙沼市立階上中学校少年消防クラブ
7	宮城県	南三陸町	歌津中学校少年防災クラブ
8	山形県	山形市	山形市南沼原地区少年消防クラブ
9	埼玉県	三郷市	三郷市少年消防クラブ
10	埼玉県	吉川市	吉川松伏少年消防クラブ
11	埼玉県	入間郡毛呂山町	西入間少年少女消防団
12	千葉県	松戸市	松戸市少年消防クラブ
13	千葉県	浦安市	浦安市少年消防団
14	千葉県	印西市	小林小学校少年少女消防隊
15	千葉県	印旛郡栄町	栄町少年消防団
16	東京都	中央区	日本橋消防少年団
17	東京都	港区	芝消防少年団
18	東京都	文京区	本郷消防少年団
19	東京都	台東区	日本堤消防少年団
20	東京都	品川区	大井消防少年団
21	東京都	大田区	大森消防少年団
22	東京都	大田区	蒲田消防少年団
23	東京都	大田区	矢口消防少年団
24	東京都	豊島区	豊島消防少年団
25	東京都	葛飾区	本田消防少年団
26	東京都	江戸川区	葛西消防少年団
27	東京都	江戸川区	小岩消防少年団
28	東京都	立川市	立川消防少年団
29	東京都	町田市	町田消防少年団
30	東京都	昭島市	昭島消防少年団
31	東京都	日野市	日野消防少年団
32	神奈川県	横浜市中区	Risk Watch Yokohama Fire Team
33	神奈川県	平塚市	平塚市少年消防クラブ
34	神奈川県	大和市	大和市少年消防団
35	神奈川県	足柄下郡湯河原町	湯河原町少年少女消防クラブ
36	愛知県	豊田市	豊田市立御蔵小学校少年消防クラブ
37	愛知県	尾張旭市	尾張旭市少年少女消防団
38	愛知県	長久手市	長久手市キッズ消防団
39	大阪府	南河内郡河南町	河南町ファイアジュニア
40	兵庫県	神戸市東灘区	魚崎ジュニア防災チーム
41	兵庫県	神戸市須磨区	西落合防災福祉コミュニティジュニア隊
42	兵庫県	神戸市北区	ひよどり台防災ジュニアチーム
43	兵庫県	神戸市中央区	東川崎防災ジュニアチーム
44	広島県	広島市南区	比治山学区少年少女消防クラブ
45	広島県	広島市南区	元宇品学区少年消防クラブ
46	広島県	安芸郡府中町	府中町少年少女消防クラブ
47	山口県	宇部市	厚南地区少年消防クラブ
48	徳島県	美馬市	穴吹少年少女消防クラブ
49	徳島県	板野郡北島町	板野東部少年少女消防クラブ
50	香川県	高松市	高松市立亀阜小学校少年消防クラブ
51	高知県	香南市	赤岡町少年防災クラブ
52	福岡県	北九州市	くすばし少年消防クラブ
53	熊本県	八代市	ひかり児童館少年消防クラブ
54	熊本県	人吉市	西瀬少年消防クラブ
55	鹿児島県	指宿市	大成・かいもん少年消防クラブ
56	沖縄県	伊平屋村	伊平屋村少年消防クラブ

第26回全国消防操法大会出場に向けて 『市川市消防団』

平成30年8月4日(土)千葉県消防学校にて、第54回千葉県消防操法大会が開催されました。小型ポンプ操法の部において市川市消防団が最優秀賞を受賞し、来る10月19日(金)富山県広域消防防災センターで開催される第26回全国消防操法大会へ出場することとなりました。

出場する第17分団は、普段、農業(梨・花栽培等)をしている傍ら、日夜操法訓練に励み、厳しい訓練を重ねた結果、悲願の全国大会初出場となりました。

全国大会では、千葉県代表として堂々たる操法演技を披露できるよう、更なる厳しい訓練を重ね、粉骨砕身の精神で全国制覇を目指します。



わが町の消防団 ① 市川市消防団



千葉県北西部に位置する市川市は、東西に約8.2km、南北に約13.4km、面積は、56.39km²で、現在、約49万人の市民が生活しております。東は船橋市、北は松戸市、南は浦安市、西は江戸川を隔てて江戸川区や葛飾区と相対し、都心から20キロメートルの圏内に位置することから、文教・住宅都市として発展する一方、北部は梨

栽培などの農業が盛んで緑も多く、南部は、東京湾に面し、京葉臨海北部地区石油コンビナート工業地帯の一翼を担っております。

市川市消防団は「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護の精神に基づき、明治27年消防組設置規則公布施行と同時に、市川町消防組を設置し、昭和9年の市制施行にあわせて、市川市消防組と改称しました。

その後、警防団などいく度の変遷を経て、昭和22年消防団令公布施行により、市川市消防団が誕生しました。現在は、1団本部23ヶ分団、高橋廣孝消防団長以下331名で活動しています。各分団には、ポンプ車又は小型ポンプ積載車が配備され、各種災害出動を始め、警戒、消防操法訓練や地域の防火防犯パトロール等も行っており、地域の自治会等とも協力し、それぞれの特性に合わせた活動を行い、地域防災力の充実強化の一層の推進を図っているほか、女性消防団員が作成した防火紙芝居をイベント等で披露するなど、啓発活動も行っています。



これからも地域に密着した消防団活動を目指して市民の安全安心を担ってまいります。



わが町の消防団 ② 香取広域市町村圏事務組合香取市消防団

香取市は、茨城県に隣接し北部には水郷の風情が漂う利根川が東西に流れ、その流域には水田地帯が広がり、南部は山林と畑を中心とした平坦地で北総台地の一角を占め、温暖な気候と肥沃な農地に恵まれ、首都圏の食糧生産地の役割を担い、古くから早場米産地としても知られる「米どころ」です。

日本の原風景を感じさせる田園・里山や、水郷筑波国定公園に位置する利根川周辺の自然景観をはじめ、東国三社の一つ「香取神宮」、日本で初めて実測日本地図を作成した「伊能忠敬」（関係資料は国宝指定）の旧宅ほか江戸時代から昭和初期に建てられた商家や土蔵が軒を連ねる佐原の町並み（国選定重要伝統的建造物群保存地区）が見られるなど、香取市は水と緑に囲まれ、自然・歴史・文化に彩られたまちです。

市域は、東西約21.2km、南北約22.7km、面積は262.3km²で、県内第4位の面積を有しています。

香取市の平成30年4月1日現在の人口は77,536人であり、消防団組織は、1本部6支団19分団118部、条約定数1,446名で、現有設備については、水槽付消防ポンプ自動車2台、消防ポンプ自動車10台、小型動力ポンプ付積載車100台、小型動力ポンプ7台を保有し、齋藤 浩勝 消防団長の指揮の下、実員1,256名の団員で活動を行っております。

各消防団員は、地域の特色ある団運営を生かしながら、基本である「自分達の地域は自分達で守る」という郷土愛精神を常に持ち地域の防災活動に励んでいます。

主な年間行事としては、5月に規律訓練や資機材取扱訓練を実施し、消防団員としての心構えや安全管理の重要性を習得しています。



また、香取市は一級河川である利根川を有しているため、毎年5月下旬に基本的な水防工法の習得を目的に出水時に備え水防災技研修会を実施しており、この時期からポンプ操法大会へ向けての訓練も開始されます。

秋から冬にかけては、ポンプ点検を兼ねた放水訓練、中継送水訓練を実施し、ポンプ等の取扱い技術の向上を図りながら、火災期に備え万全を期しています。この他にも、普通救命講習の受講や、火災予防週間中の防火パレード、年末の夜間巡邏警戒、幹部巡視を実施し、消防施設・設備等の点検と併せて、貸与された備品等が適正に管理されているかの確認を行うなど、広範囲に活動を実施しています。

また、平成23年3月に発生した東日本大震災により、市内では液状化による道路の陥没、信号機の停止、電気・ガス・水道の停止、その他、川底の隆起や護岸の崩壊、更に家屋の損壊、屋根瓦の飛

散など甚大な被害を受けた中、消防団員による被害調査、地域の援助活動を実施した経験は今も若い団員に語り継がれています。

近年、大規模地震や記録的な集中豪雨等が国内随所で多発し甚大な被害がでている中、地域の必要不可欠な組織として、団員各個の安全管理を徹底し、地域と密接な活動を展開し住民から愛される消防団を目指し、香取市の将来都市像である「元気と笑顔があふれるまち一人ひとりの市民が輝く活気みなぎるやすらぎの郷香取」の実現に向け、一役を担っていきたいと思います。



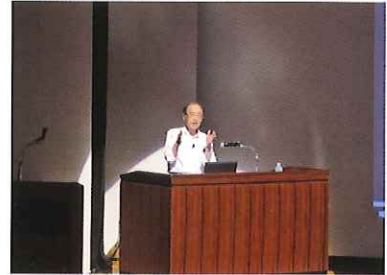
東 西 南 北

消防職員の惨事ストレス研修会を開催 柏市消防局

柏市消防局では、平成30年7月3日(火)、安全衛生の取り組みとして、一般財団法人地方公務員安全衛生推進協会の支援のもと、惨事ストレス研修会を開催しました。

講師に筑波大学人間総合科学研究科の松井教授をお招きし、「消防職員の惨事ストレス研修会」と題して講演していただきました。

当市の消防職員、消防団員、市役所職員、近隣消防本部及び警察関係の職員207名が受講し、地下鉄サリン事件、東日本大震災などで発症した惨事ストレス事例を交え、惨事ストレスとは何か、その分類、症状、対処法などについて講演いただき、職員が心身ともに健康に職務を遂行できる職場づくりにつなげられる、大変有意義な研修会となりました。



災害時における消防用水等の供給支援に関する協定 成田市消防本部

成田市は、平成30年8月8日(水)に、千葉県北総生コンクリート協同組合と「災害時における消防用水等の供給支援に関する協定」を締結しました。

当市は、成田山新勝寺を中心とした歴史的な街並みを残す地域において、木造建築物が密集しているところであり、火災の状況によっては水利の不足が予想されております。

本協定は、大規模火災等が発生した場合、水利不足を補うため千葉県北総生コンクリート協同組合員の保有するコンクリートミキサー車を要請し、消防用水等の搬送協力をお願いするもので、これにより継続的な消火活動が行える体制を整えるものです。

今後は、要請手順及び防火水槽へ消防用水を供給する訓練を様々な場所で実施し、連携を密にすることで実災害に備えてまいります。



『今、助けるぞ!』交通救助事案対応研修を実施! 柏市消防局

柏市消防局では、平成30年7月7日(土)、メタルリサイクル株式会社千葉営業所(自動車リサイクル業者)の協力を得て、特別救助隊員を対象とした交通救助事案対応研修を実施しました。研修会は、レスキューデイズ(ヨーロッパの最新救助技術体験プログラム)受講者がアドバイザーとなり、廃棄車両を活用した車両切断要領及び救出要領を実践しました。

この研修により、今年度入隊した新人隊員をはじめ中堅クラスの隊員の知識及び救助技術の向上を図ることができました。

柏市消防局では、今後も研修を重ね、市民の皆様へ安心を与えられる消防活動を目指します。参加人員40人、参加者車両6台。



日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

平成 30年 9月

6日 第167期初任科入校式(消防学校)

13日 第37回全国消防殉職者慰霊祭(ニッショーホール)



平成30年度 全国統一防火標語

「忘れてない? サイフにスマホに 火の確認」

平成30年

秋の交通安全運動

9月21日(火)から9月30日(日)

スローガン

～ハイビーム 上手に使って 事故防止～

<表紙の説明>

飯高寺(飯高檀林跡)(匝瑳市)海匝支部

飯高寺(飯高檀林跡)は、僧侶の教育と宗学を研究し、極めることを目的として天正7年(1579年)に開設され、翌年(1580年)に現在の土地に移っており、日本最古の大学として知られています。

檀林とは梅檀林の略語で、僧侶の集まりを梅檀の林に例えた寺院の尊称であり、仏教の学問所を意味します。また、最盛期には600～800人の学僧が集まり、多くの名僧を輩出しました。

このように学問所として開かれた飯高檀林も、明治5年の「学制」発布により同7年に廃檀となり、294年間の歴史を閉じることになりました。

現在、講堂・鐘楼・鼓楼・総門が国の重要文化財に、檀林跡として境内全体が県指定史跡に指定されています。

